

北海道議會時報

第 17 卷 第 2・3 号

昭 和 40 年 2・3 月



北 海 道 議 会 事 務 局

----- 第 2・3 号 目 次 -----

議 会 の 動 き

議会運営委員会.....	1
常 任 委 員 会.....	2
特 別 委 員 会.....	12
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
道庁舎建設調査特別委員会	
冷害対策特別委員会	

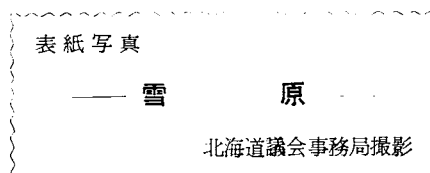
会 合

全国都道府県議会議長会.....	16
10都道府県議会議長会.....	16
北海道・東北 6 県議会議長会.....	16

資 料

第 4 回定例道議会の議決を経た条例の公布調.....	17
衆参正副議長・常任、特別委員長一覧.....	17

1・2 月 の メ モ



議会の動き

議会運営委員会

○1月9日 午前11時45分、議会運営委員会室において開議、午後零時38分散会、委員長 天谷 平信（自民）

- ① 議長から、新年のあいさつ。
- ② 局長から、さきに実施した 府県視察の実情について、道として参考となる事項について説明を聴取。
- ③ 議会運営に関する諸問題について検討協議を行なつたが、次回委員会で、さらに進展をみるよう努力することとした。

○2月12日 午後2時9分、議会運営委員会室において開議、午後2時20分散会、委員長 天谷 平信（自民）

- ① 総務部長から、第1回定例会の招集日は、2月25日を目途に考えている旨をのべた。
- ② 議会運営に関する検討事項について、小委員会を設置し、その構成は、自民3、社会2、公正ク1とし、正副委員長はオブザーバーとして随時出席して意見をのべ、場合によつては、総務部長または、副知事の出席を求めることに決定、小委員は自民、樋口、森、伊藤、社会は竹内、砂原、公正クは村上の各委員とすることとした。

○2月12日 午後2時22分、議会運営委員会室において小委員会を開議、午後4時29分散会、小委員長 伊藤作一（自民）

- ① 小委員長は、指名推せんの方法により、伊藤（作）委員（自民）に決定。
- ② 議会運営に関する検討事項等について協議、会議時間の在り方を中心に議事を進めたが、議事運営という協議の性格から、議事の進め方として委員会を休憩し、フリートーキングの方法によることを決め、意見の煮つまるまでそのような形で運営することにした。

○2月13日 午前10時30分、議会運営委員会室において小委員会を開議、午前11時40分散会、小委員長 伊藤作一（自民）

- ① 局長から、衆議院における39年度総予算審査の経過

表等について説明を聴取。

- ② 昨日に引き続き、議会運営に関する検討事項について協議、1.本日中に全部結論を出すことは困難のため、22日午前10時から引き続き協議を行ない、さらに23日午前中も行なつて、23日午後1時からの本委員会においてまとめたものについて報告をする。2.検討事項の第1点、会議時間については、小委員会の意見としては、午後5時までと改正することが適当と思われるので、各会派でとりまとめるよう努力すること。3.第2点の教育行政執行方針の取り扱いについては、40年度については従来どおりとし、その後のことについては、さらに検討を続けるよう現在までの検討経過をつけて、つぎの委員会に申し送りをする。4.第3点以下の問題については、種々検討を行なつたが、意見がまとまらず、第3点の代表質問と一般質問のあり方及び発言回数の問題、および第4点の予算委員会審査方法についての問題については、22日まで各派において検討を行なつて、それぞれの意見を持ち寄り、22日に再検討を行なう。第5点の決算審査の方法については、つぎの委員会に引き継ぐこととする。その他の事項については、22日までに関係者において検討をし、報告を受けることにすることを決定。

○2月13日 午前11時53分、議会運営委員会室において開議、午前11時58分散会、委員長 天谷 平信（自民）

- ① 伊藤小委員長（自民）から、議会運営に関する検討事項について中間報告。
- ② 今後の委員会の持ち方として、22、23の両日は、午前10時から小委員会、23日午後1時、24日午前10時から委員会を開催することに決定。

○2月22日 午後1時20分、議会運営委員会室において小委員会を開議、午後2時37分散会、小委員長 伊藤作一（自民）

- ① 小委員会の審議方法について休憩して自由に発言することとし、午後1時21分休憩、午後2時35分再開。
- ② 現在までの検討事項をプリントし明日さらに協議を続けることとした。

○2月23日 午前10時50分、議会運営委員会室において小委員会を開議、午後零時22分散会、小委員長 伊藤作一（自民）

- ① 前日に引き続き、休憩して協議を行なうこととし、午前10時51分休憩、午後零時20分再開。
- ② 休憩中協議を行なつた事項についてとりまとめを行ない、午後の本委員会に報告することとし、あわせて本小委員会を終了する旨を本委員会に報告することに

決定。

常任委員会

○2月23日 午後3時12分、議会運営委員会室において開議、午後4時7分散会、委員長 天谷平信（自民）

- ① 委員席の変更について、現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 伊藤小委員長(自民)から、議会運営に関する小委員会の審議経過および結果について報告。
- ③ 議会運営に関する小委員会は一応解散することに決定。
- ④ 局長から、昭和40年度議会費当初予算について説明を聴取。

総務委員会

○1月8日 午後1時40分、議会運営委員会室において開議、午後1時53分散会、委員長 深山和圀（自民）

請願、陳情の審査

請願

第152号 じん肺症患者援護対策の件 （採択）

○2月5日 午後1時20分、議会運営委員会室において開議、午後2時58分散会、委員長 深山和圀（自民）

請願、陳情の審査

陳情

第481号 北方領土返還の件 （保留）

一般議事

- ① 委員長から、公害防止対策に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 総務部長から、1月7、8日発生の低気圧による被害状況および当該関係予算の専決処分について説明を聴取の後、

武藤委員(社)から、今回の低気圧による災害は、気象庁の予報に手違いがあつた旨聞いているが、どのように考えているか、

堀委員(社)から、専決処分をすることについて総務委員会の了解を得るのか、または単なる報告とするのか

等について質疑、総務部長、災害消防課長から答弁があつて、異議なく専決処分をすることを了承。

- ③ 武藤委員(社)から、樺太墓参問題に関連して、カメラの持参、取材記者の同行、および墓参実現に対する部長の見解、直接ソ連大使館に陳情することに対する考え方等について質疑、総務部長から答弁。

- ④ 武藤委員(社)から、滝川における暴力事件の真相、刑事警察の強化、現行法規で取り締りが可能ならば、条例制定の必要はないと思うがどうかについて質疑、道警察本部刑事部長、同総務部長から答弁。

- ⑤ 武藤委員(社)から、国内航空の内部において釧路～札幌路線の廃止が論議されているが、これに対する見解について質疑、企画部長から答弁。

○ 2月23日 午後1時33分、第5委員会室において開議、
午後2時27分散会、委員長 深山和圀(自民)

一般議事

- ① 総務部長から、39年度火災概況について説明を聴取。
- ② 道警察本部総務部長から、北炭夕張鉱ガス爆発事件、滝川における暴力団の暴行事件および風俗営業取締条例制定後の状況について説明を聴取の後、

武藤委員(社)から、今回のガス災害については、道警は検察庁と打ち合わせの上、きぜんたる態度で捜査を行なつてほしい、また、監督官庁に対し、保安施設を完備するよう強く申し入れるべきと考えることに對する部長の見解

について質疑および要望があり、道警察本部総務部長、道総務部長から答弁。

- ③ 堀委員(社)から、陳情第481号(北方領土返還の件)の陳情者は教育委員であるが、これが法的に問題はないかどうか、議会において出席要求をした場合の出席義務

等について質疑、委員長から応答の後、暫時休憩、午後2時25分再開、本件の取り扱いについては理事会に一任することに決定して散会。

厚生委員会

○ 1月11日 午前11時56分、第5委員会室において開議、
午後2時1分散会、委員長 神部俊郎(自民)

請願、陳情の審査

請願

第162号 町立精薄者施設設置に対し助成の件 (採択)

第163号 移動採血車配車の件 (採択)

陳情

第455号 と畜検査手数料減額に関する件 (採択)

第488号 児童福祉施設の増設強化の件 (採択)

一般議事

- ① 民生部長、衛生部長から、去る1月8、9日の低気圧高波被害(渡島管内知内村)状況および対策等について説明を聴取の後、佐々木(豊)委員(自民)から、海水による寝具、生活用品等の被害も相当あるので、考慮されたい旨要望。

- ② 委員長から、40年度予算折衝の経過について、報告書の配付をもつて報告、ついで民生部長、衛生部長から、予算概要について説明を聴取の後、

青木委員(社)から、予算折衝にあつた考え方、北海道関係厚生予算は他県よりも上昇していないと考えるが、道の予算を上積みする意思の有無、社会開発の面からどのように考えるか、

山下委員(社)から、民生、衛生両部の明年度予算重点項目を発表する考えの有無、

井口委員(社)から、40年度厚生省所管予算案(五)精神衛生対策の(2)通院医療費の備考欄中、実施期間10月～2月(5カ月)の理由等について質疑および要望があり、民生部長、衛生部長から答弁。

- ③ 委員長から、明年度予算のうち本道枠の要望折衝についてはかり、異議なく実施することに決定、派遣時期、派遣委員等については委員長一任とすることとした。

- ④ 青木委員(社)から、環境衛生関係料金の値上げ抑制に対する指導状況、具体策の明示、旭川商工会議所で新入社員を自衛隊に入隊教育することに関連して、法的には憲法、労働法違反と考えるかどうか、青少年対策の面からどのように考えるか等について質疑、衛生部長、民生部長から答弁。

○ 2月5日 午後零時7分、第5委員会室において開議、
午後1時7分散会、委員長 神部俊郎(自民)

請願、陳情の審査

陳情

第480号 下水道施設の整備促進の件 (採択)

第485号 簡易水道の新設拡張事業及び無水地区対策事業に対し道費助成の件 (採択)

一般議事

- ① 山下委員(社)から、40年度厚生関係予算中央折衝の経過について報告の後、

井口委員(社)から、母子相談員の活動ができるよう努力方、

堀田委員(自民)から、母子福祉資金があまつていることに関連して、利用されなかつた理由および今後十分利用されるよう努力方

等について質疑および要望があり、民生部長から答弁があつて、異議なくこれを了承。

- ② 委員長から、引き続き厚生関係予算折衝についてはかり、異議なく実施することに決定、派遣時期、派遣委員等については委員長一任とすることとした。

- ③ 青木委員(社)から、新入社員の自衛隊入隊教育問題に関するその後の状況、健康保険法改正に対する道の対処方針、高校における看護婦養成科設置問題の進捗状況およびガンセンター設置状況、

山下委員(社)から、健康保険の改正について道はどのような考え方で政府に陳情するか等について質疑、民生部長、衛生部長から答弁。

商工労働委員会

○1月8日 午前11時18分、第1委員会室において開議、
午後1時4分散会、委員長 橋本清次郎(社)

請願、陳情の審査

陳情

第486号 旭川市に道立北海道商工指導センターの
支所設置の件 (保留)

一般議事

- ① 西島羽委員(社)から、労災法改正に関する中央折衝の経過について報告。
- ② 商工部長から、年末金融および冷害に伴う中小企業金融対策の概況について説明を聴取の後、
古沢副委員長(自民)から、冷害地における上積み融資の指導、
本間委員(社)から、融資申し込みに対する消化率、信用保証協会の一般金融機関化傾向に対する見解、運営に対する指導監督、
新川委員(社)から、冷害金融が遅れている原因、国民金融公庫における消化状況
等について質疑、意見および要望があり、商工部長から答弁。
- ③ 商工部長から、昭和40年度農山漁村電気導入事業国費予算内示状況について説明を聴取の後、
新川委員(社)から、道東北開発公庫の融資条件緩和の見通し、
本間委員(社)から、電気導入事業費消化の可能性
等について質疑、意見および要望があり、商工部長から答弁。
- ④ 企業局長から、昭和40年度企業局関係国費予算の概況について説明を聴取。
- ⑤ 労働部長から、昭和40年度労働部関係国費予算の概況について説明を聴取の後、
新川委員(社)から、一般職業訓練所の新設分が昨年より減額となつている理由、道配分枠確保について労働省に要望した内容
等について質疑および要望があり、労働部長から答弁。
- ⑥ 商政課長から、昭和40年度歳出概算要求事項別総表について説明を聴取。
- ⑦ 伊藤(弘)委員(自民)から、道東北開発公庫の融資に関し、一般旅館に対する融資条件緩和の内容、
西島羽委員(社)から、最近の中小企業倒産状況、銀行窓口で融資をはねられた企業の内容および若年労働力確保に関する資料提出方、
宮本委員(公正ク)から、信用取引正常化に対する指導、
古沢副委員長(自民)から、3月危機に対する公庫等

の融資枠拡大、

本間委員(社)から、3月危機に対するつなぎ資金の配慮

等について質疑、意見および要望があり、商工部長、商政課長から答弁。

○1月20日 午前11時40分、第1委員会室において開議、
午後3時41分散会、委員長 橋本清次郎(社)

一般議事

- ① 労働部長から、労働力対策のあり方に関する道労働審議会の答申について説明を聴取の後、
新川委員(社)から、労働力需給調整における地域区分、職業安定所の性格についての再検討、各部との連絡調整機関の設置、福利厚生施設としての厚生年金融資住宅建設に対する優遇措置、住宅課との連携、旭川商工会議所における自衛隊での訓練問題に対する見解、
伊藤(弘)委員(自民)から、自衛隊除隊者の再就職対策、自衛隊員妻女等に対する職業指導、季節労働者の失業保険受給資格問題のその後の経過、企業倒産に対する事前諸対策、
本間委員(社)から、労働力問題に対する新年度予算の見通し
等について質疑、意見および要望があり、労働部長から答弁。
- ② 労働部長から、職業訓練所定員増加について説明を聴取の後、
委員長から、国立職業訓練所定員増予定の有無について質疑、労働部長から答弁、午後1時49分休憩、午後2時20分再開。
- ③ 商工部長から、消費経済懇談会報告書について説明を聴取の後、
本間委員(社)から、漁獲物貯蔵施設整備が具体化されない理由、小売店等におけるマージンの適正化、仲買人に対する資金援護、生協に対する考え方、
佐々木(盛)委員(社)から、そ菜流通に対する重点的施策、関係各部との連携、北海道価格解消方策および公正取引委との連携
等について質疑、意見および要望があり、商工部長から答弁。
- ④ 委員長から、商工部、労働部所管事項に関し中央折衝を行なうことについてはかり、異議なくそのことに決定、日程等については委員長に一任することとした。

○2月12日 午前11時30分、第1委員会室において開議、
午後1時30分散会、委員長 橋本清次郎(社)

一般議事

- ① 佐々木(盛)委員(社)から、労災法改正問題に関する

中央折衝の経過について報告。

- ② 委員長から、道、東北開発公庫の融資条件緩和に関する中央折衝の経過について報告。

- ③ 企業局長から、余市川開発計画調査報告書および夕張川滝の下発電計画概要について説明を聴取の後、

西島羽委員(社)から、この種大事業に対する道内業者の進出促進、

古沢副委員長(自民)から、この計画と道内電力需給状況との関連、

新川委員(社)から、北地域協議会に商工部が企業局が入っているか

等について質疑、企業局長から答弁。

- ④ 労働部長から、函館職業訓練所における公金横領事件の経過について説明を聴取の後、

委員長から、実際の横領金額、令達された4半期分の金額、給料支払いに支障はなかつたか、

西島羽委員(社)から、職業訓練所運営のあり方、訓練生に対する職安での就職対策、

新川委員(社)から、事業団の総合職業訓練所の総括責任者はいるか

等について質疑、意見および要望があり、労働部長、職業訓練課長から答弁。

- ⑤ 商工部長から、国内航空札幌釧路線廃止問題について説明を聴取の後、

佐々木(盛)委員(社)から、札幌釧路線休止に対する道の対処方針、中標津線運航について運輸省との打合せ方、

委員長から、釧路線における気象上の悪条件克服対策、地上施設、無電施設整備充実について会社側との折衝方、1,600万円の照明施設費の内容、

古沢副委員長(自民)から、帯広線、釧路線の積極的なPR実施

等について質疑、意見および要望があり、商工部長から答弁。

について報告があり、異議なくこれを了承。

- ② つぎに予算の概要について農務部長および各関係課長から説明を聴取の後、

西島委員(自民)から、総合収穫機械を入れたいとの希望があるが、これに対する見解、昨年の導入した台数、

糸川委員(社)から、大規模草地問題に関し、国営、公団営に対する考え方、豊富が零回答となつているが開発庁はどう考えているか、来年度に向つて豊富をどうしようと考えているか、

諏訪田委員(社)から、学校給食用牛乳供給事業に関し、本年の枠、消費量、父兄負担額、父兄負担軽減について、ピンは高くなるので農協から罐で入れ学校で殺菌する方法に対する見解、ビート収穫機械の早期導入方、

美濃委員(社)から、農業用機械購入関係議案を第1回定例会に提案し、春先きに間に合うようにする考え方の有無、種雄馬の補助金が切られたことについて道として措置する考え方

等について質疑、農務部長、てん菜振興課長、畜産課長から答弁。

- ③ 農務部長から、農地管理事業団について説明を聴取、午後零時25分休憩、午後1時30分再開。

- ④ 委員長から、酪農振興基本対策(案)について審議する旨をのべ、

美濃委員(社)から、牛乳乳製品の貿易自由化に関し、国際競争力に対し本道農業の単純なコスト低減対策では対応できないと考えるが部長の見解、酪農経営合理化の具体的推進および予算措置、協業組織の推進方策、法人に対する融資措置、家畜保健衛生所統合の考え方、統合の内容、加工流通対策に関し、組織体に条件をつけるのであれば、集乳区はいらないのではないかと、乳業区を法で規制し拘束しようという考え方か、酪振法の改正に入れようとするのかどうか、不足払制度について反対しているものがあると聞くがどうか、また、乳製品の輸入調整機関設置についての乳業会社、輸入業者の抵抗、および抵抗の理由ならびにその情勢、

渡部副委員長(社)から、基本対策案の拘束性、賛否両論が出されているが、これら関係者の意見を入れ検討する用意、乳価の一本化について歩調がそろつていない原因、各乳業会社とも同じ水準、同じ価格とする自信があるか、およびその考え方、乳業区を設定する理由および工場合理化の目的、

天谷委員(自民)から、国の法改正と併せ道が出す場合は美濃、渡部両委員の意見を参しやくして最終案を決めてほしい、道有林の開放等の問題についても十分積み重ねてやつてほしい、乳価問題については、道として適正な価格を出し、会社を納得させるよう指導す

農 務 委 員 会

- 1月7日 午前11時20分、第1委員会室において開議、
午後6時31分散会、委員長 池田信孝(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第158号 畑作物共済制度の実現促進の件(保留)

陳 情

第95号 農業災害補償制度の拡充強化の件

(保留)

一 般 議 事

- ① 委員長から、40年度農業関係国費予算折衝の経過に

るなど行政力を発揮してほしい、

嶋田委員(社)から、原料価格を引き上げるには製造過程の合理化をすべきであるが、自由化した場合、間税等だけで対処できないが道の考え方、再生産に必要な価格の程度、

諏訪田委員(社)から、市乳の店頭売り、大ビン等の実施等について一向に進んでいないがその後の市乳の状況、および今後の見通し

等について質疑および意見があり、農務部長、畜産課長から答弁。

- ⑤ 天谷委員(自民)から、農業季節労務者の確保対策について労働部と話し合い、実態をはあくして労務者の確保に努力を願いたい、てん菜種子確保採取体系を考えられたい、

糸川委員(社)から、冷害地における本州への出稼ぎ実態調査の時期、ビート価格交渉に関連して、行政指導の効果をあげるのにどのような施策をし、どのような構えて進むか、てん菜協の打ち出した価格に対する見解、道としての試算はやつているか、美幌地域における三年輪作の安全性、

美濃委員(社)から、種子選抜の措置状況、輸入種子確保の見込み、導入2号の明年の採取計画、母根破棄に対する助成措置、追加払制度に対する見解、含糖測定検討の状況、40年のビート作付け動向調査はどうなっているか、価格の算定については生償方式で行なうべきである、ビート生産の指導のあり方、

渡部副委員長(社)から、ビートの反収が年々下回っている町村があるが、今後経営が安定するよう指導し、反収を上げるよう具体的対策を樹立してほしい、価格についても早期に決定方、種子の生産、研究は全道一本で行なうようにすべきである、網走の増田計画の指導方、常呂川の実情はあく、最低生産者価格に対する見解

等について質疑、意見および要望があり、農務部長、農業改良課長、てん菜振興課長から答弁。

- ⑥ 委員長から、道南地方のてん菜生産状況調査を明1月8日、9日の2日間実施することについてはかり、異議なくそのことに決定、つぎに、酪農振興基本対策等に関する中央折衝についてはかり、異議なく実施することに決定、派遣時期、派遣委員等については委員長一任とすることとした。

○2月6日 午前11時40分、第1委員会室において開議、午後4時25分散会、委員長 池田信孝(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第158号 畑作物共済制度の実現促進の件(採択)

陳 情

第95号 農業災害補償制度の拡充強化の件

(採択)

第204号 果樹農業振興に関する件

(採択)

一 般 議 事

- ① 委員長から、台糖道南製糖所の生産状況等の調査経過について報告書の配付をもつて報告、ついで諏訪田委員(社)から、てん菜生産振興対策等の中央折衝経過について報告があり、異議なくこれを了承。

- ② 農務部長から、40年原料てん菜取引価格折衝の経過、酪農振興法の改正、生乳価格対策、39年度原料てん菜支庁別生産量について説明を聴取の後、

諏訪田委員(社)から、農業後継者対策に関し、従来の農業高校のいき方および今後の方向、

糸川委員(社)から、青少年の流動調査の結果、酪農基本対策、地帯別の経営指導方針、米価に対する道農政の基本的かまへ

等について質疑、および意見があり、農務部長、学校教育課長から答弁、午後1時13分休憩、午後2時12分再開。

- ③ 渡部副委員長(社)から、地方競馬に関し、賞金の引き上げに対する見解、調教師が馬主となり、騎手となることは好ましくなく分離すべきであるが、今後の具体的指導方針、馬の公正な取り引き、地方競馬の近代化のための抽せん馬制度にふみ切る部長の決意、今年から市町村の地方競馬は実施できなくなることになっているがどうか、旭川は将来どのような形でやるか、帯広は廃止したいといっているがその実態、

千葉委員(自民)から、競争馬の団体有、個人有に対する助成、将来はどのようにするか

等について質疑、農務部長、畜産課長から答弁。

- ④ 美濃委員(社)から、農畜産物の価格対策に関し、道は現行のまま据え置か、諸物価の上昇分だけ引き上げる考えの有無、下層農家対策に関し、これが負債農家の調査進行状況、および下層農家に対する考え方、てん菜生産量の発表に関し、これが歩留り、現在作付動向をどの程度おさえているか、てん菜価格の物価上昇との関連、てん菜の他作物に比した場合の収益性、根釧地域に対し増殖品種等の導入、永年牧草を改良すればてん菜への転換もできるが、これがビートと酪農との結びつき、およびその施策、研摩種子の効果を早く察知し、全道に普及方、

西野委員(自民)から、農業改良普及所、家畜保健所の整備統合の実施および将来の進捗、農業機械(大型)の導入、一般的に普及されている機械は貸付しないで、補助制度に切り替えるべきと考えるが部長の見解、肉牛の現況と将来の展望、肉めん羊の品種、牛の増加に対し、めん羊が減少しているのは施策に欠かんがあるのではないか、

糸川委員(社)から、家畜保健衛生所等の統合内容およびこれに対するかまえ、

諏訪田委員(社)から、学校給食用生牛乳の消化の見通し、牛乳の消費拡大の普及宣伝および本年の生乳父兄負担額

等について質疑、意見および要望があり、農務部長、畜産課長、畑作園芸課長から答弁。

- ⑤ 酪農振興基本対策に関する中央折衝についてはかり、異議なく実施することに決定。

建設委員会

○1月8日 午後零時2分、第5委員会室において開議、
午後1時8分散会、委員長 桶谷利男(自民)

一般議事

- ① 土木部および建築部関係開発予算に関する中央折衝の経過について第1班は奥野委員(自民)、第2班は朝日委員(自民)から、それぞれ報告があり、ついで土木部長、建築部長から、その概況について説明を聴取の後、

村本委員(社)から、利尻礼文空港の経済効果、

湯田委員(社)から、旭川空港の必要性、天塩川、十勝川の一級河川指定の見通し

等について質疑および意見があり、土木部長から答弁。

- ② 管理課長から、建設業審議会委員選任について、建築部長から、大森団地における火災状況についてそれぞれ説明を聴取の後、

熊谷委員(社)から、火災に対するガス会社の補償審議会の専門部会設置数、

湯田委員(社)から、審議会委員に全道労協代表者も入れるべきでないか

等について質疑、意見および要望があり、建築部長、土木部長、管理課長から答弁。

- ③ 委員長から、新河川法施行に伴う政令等諸問題に関し、中央折衝を行なうことについてはかり、異議なくそのことに決定、日程等については委員長に一任することとした。

- ④ 湯田委員(社)から、真駒内ゴルフ場の開放問題の実情、住宅団地、公園設置等の考えについて質疑、意見および要望があり、建築部長から答弁。

○2月1日 午後1時44分、第1委員会室において開議、
午後2時55分散会、委員長 桶谷利男(自民)

一般議事

- ① 大内委員(自民)から、新河川法施行に伴う本道の特例等に関する中央折衝の経過について報告の後、

竹内委員(社)から、今回認められた北海道特例と道

で要望したものとの対比について質疑、土木部長から答弁。

- ② 土木部長から、1月8日から9日に発生した低気圧災害による公共土木施設被害状況について、建築部長から、家屋被害状況および住宅復旧対策について説明を聴取の後、

竹内委員(社)から、住宅被害の罹災者に対する措置、白糠海岸防潮堤かさ上げ工事の早急実施、大津海岸災害復旧の取り扱い、年度内に専決処分で行なうものについて各市町村からの意見聴取状況、

熊谷委員(社)から、道の緊急査定申請額13億円に対し10億円と査定されたことに対する見解と今後の復旧対策の考え方

等について質疑、意見および要望があり、土木部長、砂防災害課長、建築部長から答弁。

- ③ 委員長から、低気圧災害に関し現地調査を行なうことについてはかり、異議なくそのことに決定、日程等については委員長一任とすることとした。

本日聴取した陳情

高潮災害に伴う防潮堤の復旧、船揚場の確保について
豊頃町長

防潮堤の新設並びに継続事業の促進等について

浦幌町助役

○2月22日 午後2時45分、第5委員会室において開議、
午後4時30分散会、委員長 桶谷利男(自民)

一般議事

- ① 1月8日、9日の低気圧による暴風雪災害現地調査の経過に関し、竹内委員(社)から根室、釧路、十勝各支庁管内、熊谷委員(社)から、日高、胆振、渡島各支庁管内についてそれぞれ報告の後、

竹内委員(社)から、ロランC基地設置の時の条件であつた浦幌町における旧十勝川河口処理、白糠および別海海岸災害復旧の取扱い、工事施行方法、

熊谷委員(社)から、被災漁家等の全面的移転に対する見解

等について質疑、意見および要望があり、建築部長、土木部長から答弁。

- ② 委員長から、小樽土木現業所管内における天幕販売事件について休憩して説明を聴取する旨を述べ、午後3時12分休憩、(休憩中土木部長から、天幕販売事件の経過等について説明を聴取した。)午後3時34分再開。

- ③ 福島委員(自民)から、道路改修等により不要となつた公用地の処理およびその取り扱い、

熊谷委員(社)から、コンサルタント株式会社のボーリング調査問題に関し、ボーリング協会からの陳情、道、ボーリング協会および開発局における協議経過、コンサルタント株式会社の営業内容、道路照明につい

て、災害等により停電した時事故防止のための自家発電等を考えているか、住宅建築資材として規格外のブロック使用に対する規制等について質疑、意見および要望があり、土木部長から答弁。

農地開拓委員会

○1月11日 午後1時20分、第3委員会室において開議、
午後2時40分散会、委員長 遠藤英吉(社)

一般議事

① 委員長から、40年度予算中央折衝経過について報告書の配付をもつて報告にかえる旨をのべ異議なくこれを了承。

② 農地開拓部長から、国費予算の概要について説明を聴取の後、

林(利)委員(自民)から、揮発油税財源農道整備事業の補助率、実施条件の見通しおよび入植施設、電気施設補助率改訂に基づく1戸当りの負担額、

清水委員(社)から、電気事業について受益者負担額が増加すると予想されるかどうか、道の置き決定の有無等について質疑、農地開拓部長、開拓振興課長から答弁。

③ 農地開拓部長から、開拓農協整備(開拓農協実態調査報告書)について説明を聴取の後、

清水委員(社)から、さきの委員会でこれの対策については次回委員会において示されることになっていたと思うかどうか、

井野委員(社)から、昭和40年度予算についても早期に示してほしい、39年度の管理費については、賦課金の徴収不能により営農資金等から手数料をとらざるを得ない状態にあるので、その対策については十分考えられたい

等について質疑および要望があり、農地開拓部長から答弁。

④ 委員長から、農地開拓部における出張旅費支出問題については、理事者から事務処理の改善策が提示され、理事会において協議の結果、一部訂正の上、改善案を厳守するということで了解した旨の報告があつた後、井野委員(社)から、今回示された改善案の裏のことが考えられるので、十分留意の上、厳守されたい旨意見があつて、本件はこの程度にとどめることを決定。

⑤ 委員長から、開拓農家負債整理および40年度予算に関する中央折衝についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣時期、派遣委員等については委員長一任とすることとした。

⑥ 林(利)委員(自民)から、農家林造成に関し、農協が実施する場合と個々に実施する場合の内容、開拓者の恒久対策として農家林をもたせる方法、森林組合の委託方式、農林中金の造林に対する貸付条件の改善、離農者の跡地計画等についての研究方、

津川副委員長(公正ク)から、冷害中小企業対策に関し、資金支払い遅延の実情、

清水委員(社)から、土建業者の倒産、特に末端業者が次から次と手数料をとられ、支払い不能となり開拓農家等に迷惑をかけていると聞くが、今後そのような業者の指名を停止する措置等に対する部長の考え方および決意

等について質疑および要望があり、農地開拓部長、開拓振興課長から答弁。

本日聴取した陳情

途別地区、依田地区頭首工災害復旧について

幕別町途別土地改良区理事長

○2月5日 午前11時44分、第3委員会室において開議、
午後1時34分散会、委員長 遠藤英吉(社)

請願、陳情の審査

請願

第159号 道営かんがい排水事業実施の件(採択)

陳情

第456号 農林業諸施設の災害復旧事業費査定制度改善に関する件(採択)

第463号 本別町開拓農家の負債整理対策の件(採択)

第464号 清里町開拓農家の負債整理対策の件(採択)

第465号 釧路村開拓農家の負債整理対策の件(採択)

第471号 上富良野町十勝岳直轄かんがい事業実施の件(採択)

一般議事

① 大石委員(社)から、開拓農家の負債整理および開拓農協整備対策に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なくこれを了承。

② 農地開拓部長から、開拓農協整備対策試案について説明を聴取の後、

清水委員(社)から、組合の自己資金等による債権について国に援助措置を要請する方法、財産造成のための造林と固定化負債を結びつけた理由、及び道独自の助成に対する見解、酪農事業団が乳代の利子を回収しているが、このうち大部分が開協の運営に使われて返つてこないのが実情であり、これらが固定化負債となつていくことに対する見解、今後の打開策および道の機関で貸した金が問題となつていくが、これ等に対し

どのように考えているか、固定化負債があつた場合の一般農協組合との統合処理対策並びに次期議会で意見書の発議ができるよう道案の提出方、農家林問題に関する道試案の提示方、

原田委員(自民)から、組合が負担している金額、238組合のうち、自立できる組合数、

津川副委員長(公正ク)から、農林省から要請もあり、道の対策案を早く出す必要があると同時に、議会としても道と一致した意思表示をすべきと考える、

林(利)委員(自民)から、農家林造成問題に関し、造林事業に対する融資の償還条件緩和等の検討方等について質疑、意見および要求があり、農地開拓部長、開拓振興課長から答弁、ついで委員長から、開拓農協整備対策案については、できるだけ早期に検討し、議会で意見書を作成して中央折衝できるよう部長の方で考えてもらいたい旨をのべた。

水産委員会

○1月8日 午前11時13分、第4委員会室において開議、
午後零時38分散会、委員長 高橋源次郎(自民)

一般議事

① 委員長から、40年度水産関係予算中央折衝の経過について、報告書の配付をもつて報告、ついで水産部長から、国費予算の主要事項について説明を聴取。

② 砂原委員(社)から、40年度水産行政の基本的考え方に関し、日ソ漁業交渉にのぞむ態度、こんぶ区漁特に利尻、礼文両島のこんぶ不漁原因の究明および稚内水産試験場の調査研究に対する予算措置、

坂下副委員長(社)から、オホーツク海サケ、マス解放に関し、業界との話し合いおよび政府対策、底曳禁止区域の成案を早期に明示することに対する見解、政治的協力の必要性、

沖野委員(自民)から、オホーツク海サケ、マス解放に対する部長の考え方、

阿部委員(公正ク)から、韓国スルメ輸入に対する基本的考え方、輸入実績、輸入をめぐる賛否両論があつたかどうか、輸入数量と本道に配分される数量、禁止品目の輸入方式に対する考え方、ソ連ニシン輸入の限度量

等について質疑および意見があり、水産部長、水産課長から答弁。

○1月14日 午後1時37分、第1委員会室において開議、
午後2時56分散会、委員長 高橋源次郎(自民)

一般議事

① 水産部長から、低気圧による被害状況について説明を聴取の後、

川村委員(社)から、今次の災害には土木、民生の所管等があるが、道は災害対策本部を作る考えかどうか等について質疑および意見があり、水産部長から答弁があつて暫時休憩、午後2時15分再開、

川村委員(社)から、海産干場に対する具体的対策、方針、無動力船被害に対する融資対策および道有林の払い下げ等特別措置、

坂下副委員長(社)から、現地調査と対策が同時に進まなければならないが、この点欠如しているのではないか、これについての各部との連携い

等について質疑、水産部長、漁政課長から答弁、ついで委員長から、災害地への見舞等についてはかり、川村(社)、五十嵐(自民)、麻里(自民)、松平(自民)の各委員間で意見の交換があつた結果、都合により災害地への見舞は取り止め、道に対し早急に対策を進めるよう要請することとした。

本日聴取した陳情

低気圧による被害対策について

北海道漁業災害本部

○1月29日 午後3時15分、第1委員会室において開議、
午後4時55分散会、委員長 高橋源次郎(自民)

一般議事

① 水産部長、漁政課長から、低気圧災害対策について説明を聴取の後、

川村委員(社)から、本日、各部の対策について報告が行なわれたかどうか、水産部長が窓口と決定したか、さきに対策本部設置方を要望したがどうなっているか、他部との関係に対する考え方、および部長の責任、天災融資法適用の見通し、農業災害の場合は、農作物の減収も被害額に加えられているが、水産の場合も同様に加えるよう事務折衝段階で含めるべきでないか、漁獲がない間の被害額を算定して水産庁に折衝した事例の有無、天災融資法の適用できない場合の措置、条例制定計画の有無、共同利用施設、小型漁船の国庫補助に関し、低利資金の融資および国、道有林の安価払い下げ対策、海産干場、船巻場に対する法律適用の見通し、海産干場対策についての検討方、次回委員会に副知事(三枝)の出席要求および議会として政府、国会に要望するため、小委員会を設置することの検討方、

砂原委員(社)から、天災融資法の基準、海岸保全の復旧工事の現状、カニかご網漁業の漁期1カ月延長の見通し

等について質疑、意見および要望があり、水産部長、

漁政課長から答弁。

- ② 砂原委員(社)から、底曳禁止区域拡大道案の作業状況および今後の見通しについて質疑、漁業調整課長から答弁。

本日聴取した陳情

函館水試整備について

函館水試整備拡充期成会代表

低気圧被害について

道漁業災害対策本部

釧路、十勝地方被害組合代表

日高地方被害組合代表

○2月4日 午後3時14分、議会運営委員会室において開議、午後5時53分散会、委員長 高橋源次郎(自民)

一般議事

- ① 副知事(三枝)から、低気圧災害関係予算について説明を聴取の後、

川村委員(社)から、災害対策関係予算を専決処分したことについて各会派の幹部に対し了解をとつてほしい、天災融資法の適用を受けられない理由、これが適用のための検討方、天災融資法の適用を受けるものの範囲、天災融資法第2条により、市町村が認定を受ければ適用されるかどうか、同条の魚類、貝類、海そう類の内容、激甚法適用の見通し、これが実現についての努力方、利子補給を5分5厘とした場合の個人負担額、漁船建造資金の希望者が組合に対し借金があるために貸さないということのないように善処方、土木災害に関し、国道復旧対策に対する開発局との打ち合わせ状況、原型復旧でなく恒久的に整備するよう善処方、海岸保全、特にコンクリート防潮堤および船揚場の設置、住宅対策について具体的にどのように考えているか、船の建造、住宅建築等のため、国有林、道有林の安価払い下げ、海産干場に関し、私有地に対する補助対象および私有地の海産干場を町村が買い上げ、協同組合に貸し付ける方法によつて整備することに対する見解、ならびに町村に対し、買い上げのための低利資金の融資、災害救助法を日高の庶野部落に対し発動しなかつた理由、災害用の無線機の配置方、

砂原委員(社)から、農林大臣の天災融資法適用問題に関する答弁後の知事、副知事の中央に対する働きかけ

等について質疑、意見および要望があり、副知事(三枝)、漁政課長、住宅課長から答弁、暫時休憩、午後4時50分再開。

- ② 水産部長から、道東地区の沿岸漁業構造改善事業指定の内定について説明を聴取。

- ② 委員長から、低気圧災害、オホーツク海解放問題等

に関する中央折衝についてはかり、異議なく実施することに決定、派遣時期、派遣委員については委員長一任とすることとした。

本日聴取した陳情

底曳禁止区域拡大について

宗谷地区期成会会長

利礼地区代表

オホーツク海地区代表

○2月19日 午後4時58分、第3委員会室において開議、午後5時5分散会、委員長 高橋源次郎(自民)

一般議事

- ① 委員長から、低気圧による高潮被害対策、オホーツク海海域におけるサケ、マス漁業操業、および底曳禁止区域拡大に関する中央折衝の経過について報告書の配付をもつて報告。

- ② 砂原委員(社)から、底曳禁止区域拡大道案は、いまだに水産庁に提出していないことについて不満の意を表明する、大手漁業会社がスケソダラを沖合でソ連から買い付けている問題に対する道の考え方について質疑、水産部長から答弁。

文教林務委員会

○1月11日 午後1時25分、第1委員会室において開議、午後4時5分散会、委員長 道下美作(社)

請願、陳情の審査

請願

第154号 じん肺症患者援護対策の件 (採択)

陳情

第451号 利尻、礼文道立自然公園を国定公園に昇格指定の件 (採択)

第454号 道立図書館建設位置の件 (不採択)

第476号 北海道造林費国庫補助増額の件 (採択)

第479号 道立図書館の建設位置等の件 (不採択)

一般議事

- ① 委員長から、40年度文教林務関係予算の中央折衝の経過について報告書を配付して報告。

- ② 教育長、林務部次長等から、40年度文部省予算、および40年度山林公共事業(国費)予算についてそれぞれ説明があつた後、

亀井委員(社)から、40年度の道における学校給食の希望状況について質疑、保健体育課長から答弁。

- ③ さきに答弁保留となつていた夕張南高校内紛状況、天の川かんばい問題にかかる教職員の処分反対、およ

び江差中学校の偏向教育等について、教職員課長、学校教育課長から答弁。

○2月8日 午後1時25分、第5委員会室において開議、
午後4時50分散会、委員長 道下美作(社)

一般議事

① 林務部長から、道有林会計の企業会計制度への移行について説明を聴取の後、

佐野委員(社)から、現年度議決の取り扱い、継続費および繰り越しの議決の取り扱い方、職員の配置関係について質疑、林務部長等から答弁。

② 教育長から、国立青年の家本道設置の決定について説明を聴取。

③ 林務部長から、昭和40年度の林務関係予算に関する中央折衝について意見を聴取の後、委員長から、中央折衝の実施時期、派遣委員等については、委員長に一任されたい旨をのべ、異議なくこれを了承。

④ 教育長から、さきに答弁保留となっていた、教職員の勤務条件等について見解を聴取の後、

高田委員(社)から、服務と規律の用語の相違、道条例の服務専念、職員の営利事業の規定はこれらの対象になるか

等について質疑、教育長から答弁。

⑤ 教育長から、さきに答弁保留となっていた学校における期末テスト等実施の必要性についての教育委員会の見解、および偏向教育についての見解を聴取の後、

亀井委員(社)、佐野委員(社)から、新得高校屈足分校の生徒募集停止の経緯、上川管内で自衛隊の演習に際し、校舎を提供したことについての見解

等について質疑、教育長から答弁。

○2月9日 午前11時25分、第5委員会室において開議、
午後4時45分散会、委員長 道下美作(社)

一般議事

教職員課長から、教職員の広域人事の異動計画について説明を聴取の後、

高田委員(社)から、広域人事について市町村教委に対する指導方針、住宅確保の対策方、旅費について、1人当たり8,000円のうち、4,800円は一般旅費で、さらにこの半分は赴任旅費かどうか、旅費の支給時期、小、中は概算払いの支給方法をとっていないかどうか、義務免条例の未制定市町村に対する指導、教員定数の現況、および基準の手直し、高校急増対策について、札幌、苫小牧等についての40年度の計画、40年度の教員の配置計画と文部省の方針が本道に与える影響、

林(謙)委員(自民)から、都市から郡部への異動に際しては、左遷的な感覚をもたせないようにすることの考慮方、教員の登録には、全道と管内との二本建てと

なっているが、全道一本の登録の中で管内を考慮することができないか、新卒者を多級校にすぐ配置することの成果、

亀井委員(社)から、旅費について、小学校8,023円、中学校9,828円の中に4,800円の一般旅費は含まれるか、その差額の使途はどうか、冷害地域の給食について、準要保護の定義と、これの措置、中卒者の就職等に係る旅費の措置、

佐野委員(社)から、次回委員会までに教職員の配置計画についての道教委の案を、手直しの分を含めて資料として提出すること

等について質疑、および要求等があり、教育長等から答弁。

○2月17日 午後2時40分、第5委員会室において開議、
午後4時散会、委員長 道下美作(社)

一般議事

① 樋口副委員長(自民)から、40年度予算折衝の経過等について報告。

② 教育長から、青年の家建設土地問題および道立茅室高校寄宿舎の火災について報告。

③ 財務課長から、前回から継続の40年度における教職員配置計画についての資料の説明を聴取の後、

高田委員(社)から、配置計画について、前回と今回の説明が相違するがこの点どうか、知事との折衝状況、

亀井委員(社)から、私学の高校収容計画で、40年度は従来よりも増となっている理由、および授業料の値上げとの関係、へき地教員の特昇についての道の考え方、単複手当増額に対する考え、子弟寮建設計画、高校の時間講師手当の改訂、舎かん手当の改訂、高校入試手当500円の新設等に対する見解、定時制高卒者を中卒者程度として扱う会社が相当あるが、これに対する道の指導方、盲ろう学校等に対する警備員不足の対策方、

高橋(辰)委員(自民)から、農業課程を有する高校における農業機械の購入について、地元外のメーカーから購入しているが、地元業者の育成のための十分な配慮方、

佐野委員(社)から、高校通学区域に関し、網走、遠軽地区についての説明方

等について質疑および意見があり、教育長、財務課長、教職員課長、施設課長から答弁。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

○1月11日 午後2時15分、議会運営委員会室において開議、午後3時30分散会、委員長 二瓶栄吾(自民)

① 委員長から、昭和40年度開発予算中央折衝の経過について報告書を配付、報告に替えたい旨をのべ、異議なくこれを了承。

② 企画部長、調整課長から、開発予算内示額について説明を聴取の後、

糸川委員(社)から、本道の石狩、十勝、天塩3大河川の全水系を国費河川に認定する折衝において大蔵当局はどのような構えで作業を積み上げてきたか、大規模草地事業について調査費のみしかつかかなかつたが、今後の対処方針、

新川委員(社)から、開発予算説明の要領に対する意見及び非公共事業費の伸びが少ないことに関し、社会保障、職業訓練所の伸び率及びこれが対策、キハツ油税の内容、

高橋(賢)委員(自民)から、職業訓練所における教科書無償配付についての予算関係、

奥野委員(自民)から、青年の家の完成見込み、金山ダムについて、内示額と提出資料による額との相違等について質疑、企画部長等から答弁。

③ 委員長から、室八航路開設促進、国鉄予算配分方について中央折衝をすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○2月6日 午前11時35分、第5委員会室において開議、午後零時30分散会、委員長 二瓶栄吾(自民)

① 新川委員(社)から、40年度国鉄関係予算折衝経過、高橋(辰)委員(自民)から、室蘭、八戸間航路開設に関する事情、井口副委員長(社)から、道開発審議会農林水産小委員会の経過についてそれぞれ報告があつて、異議なくこれを了承。

② 調整課長から、新産業都市建設及び工業整備特別地域整備のための国の財政上の特別措置に関する法律案要綱について説明を聴取。

③ 委員長から、本要綱についての質疑は今後の本委員で行なうことについてはかり、そのことに決定、つぎに室八航路開設促進について調査のための委員の派遣についてはかり、異議なくそのことに決定。

○2月23日 午前11時30分、第3委員会室において開議、

午前11時50分散会、委員長 二瓶栄吾(自民)
企画部長から、さきの委員会で答弁保留となつていた開発予算の採択経過について説明を聴取。

石炭対策特別委員会

○1月7日 午後2時10分、第5委員会室において開議、午後3時50分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

① 委員長から、昭和40年度石炭関係予算折衝の経過について報告、ついで商工部長から、石炭関係予算の概況について、労働部長から、炭鉱離職者対策予算の概況について、それぞれ説明を聴取の後、

武藤委員(社)から、国費予算と関連した道の40年度予算編成に対する所見、明年度石炭産業のすう勢とその問題点、産炭地振興対策としての企業育成強化に対する見解、炭鉱における労働力確保対策、

湯田副委員長(社)から、企業誘致融資枠の拡大に伴う誘致対策、

村本委員(社)から、機械貸付により、その償還が経営を圧迫しているが、これに対する特別措置、企業における資金、機械等活用の実態調査の必要性、石炭産業に対する財政投融资関係予算の内容、

西鳥羽委員(社)から、産炭地における中小企業の実態調査方、苫小牧市における炭鉱離職者出資による共成建設会社の経営不振とその債務処理の問題に対する見解および道としての指導措置、

渡辺(浩)委員(社)から、中小炭鉱の強化、誘致企業の後始末等に伴う予算折衝の考え方等について質疑、意見および要望があり、副知事(那須)、商工部長、労働部長、職業安定課長から答弁。

② 渡辺(浩)(社)、武藤(社)、村本(社)、西鳥羽(社)の各委員から、油谷炭鉱閉山問題、苫小牧共成建設経営不振問題等の取り扱いと小委員会の運営について意見があり、理事会でこれらを協議することとした。

本日聴取した陳情

油谷炭鉱閉山対策について

油谷炭鉱労組執行委員長

○1月18日 午後1時40分、第1委員会室において小委員会を開議、午後2時36分散会、小委員長 神部俊郎(自民)

小委員長から、油谷炭鉱別炭鉱問題に関し休憩して協議する旨を述べ、午後1時42分休憩、(休憩中、鉱政課長から、油谷炭鉱の概況について説明を聴取、山下委員(社)から、油谷炭鉱の状況について報告があり、今後の対策等について協議した。)午後2時35分再開、油谷炭鉱別炭鉱問題に関し、中央折衝を行なうことについて

てはかり、異議なくそのことに決定。

○2月6日 午後1時5分、第3委員会室において小委員会を開議、午後2時散会、小委員長 神部俊郎(自民)

小委員長から、油谷炭鉱閉山問題に関し休憩して協議する旨を述べ、午後1時6分休憩、(休憩中、山下委員(社)から、油谷炭鉱閉山問題に関する中央折衝の経過について報告の後、今後におけるこの問題の取扱い等について協議した。伊藤(弘)委員長から、東京で開かれる8道県議会石炭対策協議会に委員を派遣したい旨の発言があり、異議なくこれを了承。)午後1時59分再開して直ちに散会。

本日聴取した陳情

油谷炭鉱閉山対策について

芦別市長

道庁舎建設調査特別委員会

○1月21日 午後1時40分、第5委員会室において開議、午後2時43分散会、委員長 吉田定次郎(自民)

① 建築部長から、道庁舎建設基本設計に関する経過について説明を聴取の後、

岡田副委員長(社)から、12階建ての場合、自治会館の日照時間との関係において北側を後退させ南側を高層化とすることに対する見解、道庁舎との間を16メートルにする必要性、また西側はどうなるか、札幌市の建築審査会で結論がでたか、できるだけ路上駐車をしないで南北西側に地下からでられるようにすることの考慮方、

大島委員(自民)から、建築審査会は日照について重要視しているが、あまり影響はないのではないか、道庁との間は狭まい、

佐野委員(社)から、西側道路が12メートルでは狭まい、石炭庫がある理由、建物の姿図はまだできないか、建築に直接に関係ない人など広い範囲の意見を聞いてほしい、

深山委員(自民)から、石炭をたくのは公害防止の面からも好ましくない、駐車場についても将来のことを十分考えてやつてほしい、

村本委員(社)から、公害に観点をおいて慎重に処理されたい、歩行者のわかり易い通路とすることに対する見解、

河野委員(社)から、地上駐車については、西門道路をどのように使うか十分検討されたい等について質疑および意見があり、建築部長、準備室長から答弁。

② 委員長から、他県庁舎および新様式ビルディング等調査についてはかり、異議なく実施することに決定、派遣委員等については委員長一任とすることとした。

○2月24日 午後4時18分、第1委員会室において開議、午後5時30分散会、委員長 吉田定次郎(自民)

① 他県の県庁舎建設状況の調査経過について、第1班は村本委員(社)から、第2班は岡田副委員長(社)から、それぞれ報告があり、異議なくこれを了承。

② 総務部長、準備室長から、庁舎の解体、仮庁舎の建設について説明を聴取。

③ 建築部長から、庁舎の基本設計について説明を聴取の後、

川口(自民)、佐野(社)、岡田副委員長(社)、深山(自民)、西島(自民)の各委員から、ボイラーの石炭または重油の使用、ヘリポート設置の安全性、職員ののためのいこいの場の設置、屋上にガラス張りサンルームの設置問題

等について質疑、および意見があり、建築部長、準備室長から答弁。

冷害対策特別委員会

○1月11日 午後2時50分、第1委員会室において開議、午後4時50分散会、委員長 蔭田余吉(自民)

① 現在までの折衝経過について総務部次長(高橋)、農務部長、農地開拓部次長から説明を聴取の後、

美濃委員(社)から、家畜専業者の認定およびその取り扱い、自創資金の40年度配分および調整に対する見解、

竹内委員(社)から、越冬用飼料購入補助金の具体的な交付方法、

山田委員(社)から、救農事業費に関し、市町村独自の財源で行なっている金額および道が100%要望を満たしたいという答弁との関連性

等について質疑、農地開拓部次長、農業経済課長、畜産課長、地方課長から答弁。

② 農政課長から、救農土木事業の進捗状況について説明を聴取の後、

堀委員(社)から、網走地区ではほとんど終了し、現在失業状態になつているが、年内に救農事業が終わつたということは完全な救農事業であつたかどうか、新規救農事業を起こすことに対する見解、

竹内委員(社)から、国、道および民間の救農事業状況、現地でさらに救農事業を継続してほしい旨要望があるが、これが調査完了の時期、

渡部委員(社)から、各市町村における救農事業計画の提示方、恒久対策に対する審議と請願、陳情の取り扱いに対する委員長の考え方、

坂下副委員長(社)から、救農事業による事故発生に関し、これが指導状況および事故現場の実態ならびにその後の指導状況、労災保険対象の有無、救農事業の大半が年内に完了しているが、今後賃金収入がなくともやつていける態勢にあるかどうか、

林(利)委員(自民)から、冷害恒久対策に関し、農家林設置の必要性等について質疑、意見および要望があり、委員長から応答、農務部長、農政課長から答弁、暫時休憩、午後4時15分再開。

- ③ 美濃委員(社)から、冷害により急激に負債が増加し、資産額をオーバーするものがでてきたため、明年の営農資金貸付の約束ができない農家がでてくるが、天災資金の利子補給、損失補償の率はどのようになっているか、天災資金を貸し付けた場合の回収の順位、今秋に倒産するものがでた場合の損失補償適用の見通し、利子補給や損失補償を行なった場合の当該市町村に対する財政援助措置、生産資材供給に対する適用方法等について質疑、農業経済課長、地方課長から答弁。

○1月21日 午前11時12分、第1委員会室において開議、
午後3時43分散会、委員長 蒔田余吉(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第148号 北部上川冷害凶作対策の件 (採択)

陳 情

第401号 昭和40年度播種用亜麻種子購入費補助の件 (採択)

第404号 冷害凶作対策の件 (採択)

第406号 冷害による酪農経営対策の件 (採択)

第408号 石狩管内における冷害対策の件 (採択)

第426号 後志地区における冷害対策の件 (採択)

第427号 芦別市における冷害対策土木事業実施の件 (採択)

第428号 冷害凶作対策の件 (採択)

第429号 冷害凶作関連中小企業特別融資実施の件 (採択)

第431号 冷害凶作関連中小企業特別融資実施の件 (採択)

第434号 留萌管内における冷害対策の件 (採択)

第474号 冷害に伴う宗谷農業確立対策の件 (採択)

- ④ 農務部次長から、冷害恒久対策の進め方(主として北方農業懇話会の設置問題)について説明を聴取の後、
渡部委員(社)から、恒久対策の意義、基本的な考え方、気象長期予報の完璧性および冷害予報があつた場合の対応できる措置、懇話会設置の目標、懇話会委員に対する費用弁償の取り扱い、31年当時どのような反省をし、どう対策を打ち出したか、品種改良だけで被害を喰い止めることの可能性、今後の対策の重点および具体的対策、畑作共済制度確立のための隘路打開策および解決の目途、昭和31年の冷害後に打ち出した道の長期対策および過去10年間の予報と被害状況資料の提出方、

坂下副委員長(社)から、懇話会の性格、人選をやつたもの、人選の方針および意図、農務部の中に事務局を置くことの疑義、

亀井委員(社)から、人選の変更および人選追加の有無、懇話会の開催回数、割り振りの基準、年末の支庁別融資件数、金額および融資でまかなつた件数、金額、融資できなかったものに対するつなぎ融資取り扱いの件数、金額、救農事業従事者中負傷したものに対する労災保険の支払状況、被災農家中、生活保護世帯の12月末支庁別数資料の提出方、

堀委員(社)から、農務、農地開拓の両委員長がメンバーとなつているが、常任委員は2年で交替することを考慮に入れたのかどうか、委員会構成が変つた場合の取り扱い、人選に対する考え方、

林(利)委員(自民)から、懇話会規約等の有無等について質疑、意見および要求があり、農務部次長から答弁、ついで島田委員(自民)から、懇話会発足に賛成、堀委員(社)から、現段階において不賛成の意思表示があつて、午後零時50分休憩、午後3時40分再開。

- ② 委員長から、今後の委員会の進め方について理事会で協議の結果、恒久対策の基本方針等に対する審議については明日あらためて行なうことになつた旨を報告、ついで請願、陳情の審査に入つた。

○1月22日 午後2時40分、第1委員会室において開議、
午後3時52分散会、委員長 蒔田余吉(自民)

- ① 渡部委員(社)から、本日は恒久対策の考え方および北方農業振興懇話会の性格等について知事に質ねることとなつていたが、知事が出席しなかつた理由、委員長および道は知事に対しどのような手続きを行なつたか、その経過等について発言、委員長から応答、総務部次長(高橋)から答弁、ついで渡部(社)、亀井(社)、山田(社)、堀(社)、二瓶(自民)の各委員から知事の出席、陳情審査等の問題について質疑および意見の交換があり、委員長から応答、総務部次長(能登、高橋)から答弁があつ

て、暫時休憩、午後3時51分再開。

- ② 委員長から、休憩中協議のとおり、残余の陳情中、恒久対策のうちどうしても知事に聞かなければならない問題もあるので、本日はこの程度にとどめ、次回の委員会において陳情審査に入る前に知事の出席を願い、恒久対策についての心がまえ等について聞くことにしたいとはかり、異議なくそのことに決定、次回委員会の開会については、正副委員長一任とすることにした。

○2月4日 午後3時12分、第1委員会室において開議、
午後6時22分散会、委員長 薛田余吉(自民)

- ① 委員長から、冷害対策に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なくこれを了承、ついで恒久対策に関する知事の心がまえ等の問題について審議を行なう旨をのべ、

渡部委員(社)から、農民は今年の収穫期まで何ら収入がなく生活の維持が憂慮されるが、知事は応急対策についてすでに完了しているものと考えているかどうか、恒久対策の基本的理念、気象観測所配置の現況に対する見解、長期予報にもとづく具体的方向を明示する考えの有無、長期予報の確率を高める方法、水稻の品種改良によつて農民が期待するほどの効果が発揮できるかどうか、知事のいう適地適作の意味、農産物の価格について、農民の要求をかなえ経営者を少なくして生産を高め、所得を上げる等して、数年に1回位の冷害に備えておくような施策を講ずることに対する考え方、酪農振興の基本的な考え方および今後の方向、酪農家戸数の減少と飼養頭数増加に対する見解、乳価の二重価格制に対する考え方、北方農業振興懇話会を開き、学識経験者の意思を聞く段階ではなく、酪農振興の具体策をいかにして実行していくかを推進していくべきでないか、畑作農業共済制度の隘路克服に対する道の方針および検討完了の目途、

竹内委員(社)から、酪農地帯における家畜の春先きの衛生管理および具体的指導方針、農業気象観測機関の設置と現地における営農指導体制に対する見解、サイロ、畜舎等の施設に対し、道が積極的に助成する考えの有無、北方農業振興懇話会設置の目的、人選の仕方は一方的でないかどうか、農民の代表をメンバーに加えなかつた理由、道議会農務、農開両常任委員長を入れた理由、恒久対策の問題について知事において、議会の要望、意見等を求めるというような何らかの政治的配慮をする用意の有無、

坂下副委員長(社)から、北方農業振興懇話会は単なる雑談会か、またその経費は報償費から支出するのかどうか、この問題を北海道農業会議に諮問しない理由および今後の運用に対する考え方、応急対策は一応終

つたという知事の考え方、天災資金、自創資金の要望額に対し、決定額は60億をこえる不足金額がでたことに対する今後の処理対策、冷害恒久対策の基本方向の柱に負債整理対策が取り上げられていないが、今後真剣に取り組むという姿勢を作ろうとしているのかどうか、離農していくものの対策、零細農をどう解決していくかという柱を基本対策の中に入れてやるべきと考えるが、知事の見解、基本方針中、畜産とてん菜に関し、学校給食等原料乳の消費拡大策は考慮されているのかどうか

等について質疑、意見および要望があり、知事、農務部長から答弁。

- ② 委員長から、次回開催日時についてはかり、異議なく正副委員長一任とすることに決定。



全国都道府県議会議長会

○1月22日 都道府県会館において正副会長会議を開催、欠員中の副会長1人の補充ならびに幹事会の運営等について協議した。

○1月22日 都道府県会館において幹事会を開催、つぎの事項について協議した。

- 1 副会長の欠員問題について
- 2 昭和39年度本会補正予算について
- 3 昭和40年度本会予算について
- 4 地方議会議員の年金制度の改善問題について

○1月27日 全共連ビルにおいて幹事会を開催、臨時会に提出する議題、および副会長欠員問題等について協議した。

○1月27日 全共連ビルにおいて臨時会を開催、まず会長のあいさつ、引き続き地方交付税率引き上げ運動および地方制度調査会の審議経過報告があつたあと、昭和39年度本会補正予算を原案どおり承認、ついでつぎの事項について協議決定した。

- 1 副会長欠員問題について
- 2 昭和40年度本会予算について
- 3 各種医療保険制度の一本化について
- 4 その他

なお、本臨時会においてつぎのとおり副会長（4人制を8人制に改正）等の補充を行った。

副会長

東北ブロック 山形県（この結果、幹事は岩手県と決定）

東海北陸ブロック 愛知県

近畿ブロック 大阪府

中国ブロック 岡山県

四国ブロック 徳島県

欠員中の会計幹事 滋賀県

○1月22日 都道府県会館において議員共済会理事会を開催、1月27日開催の代議員会の運営等について協議した。

○1月27日 全共連ビルにおいて議員共済会代議員会を開催、まず、全議局長から、都道府県議会議員共済会の現

況について報告があり、ついで昭和40年度事業計画および予算案を原案どおり了承した。

○2月4日 都道府県会館において全国道県議会国有林野開放対策協議会総会を開催、まず会長、来賓のあいさつ、経過報告があり、ついでつぎの事項について協議決定した。

- 1 国有林野開放に関する特別措置法案（仮称）の促進と対策について
- 2 本会規約の改正について
- 3 役員の変更について
- 4 本会今後の運営について

なお、役員改選の結果、新設の監事に秋田、岐阜両県議長を選任し、他はすべて留任と決定。

○2月18、19日の2日間、新潟県長岡市において全国都道府県議会豪雪災害対策協議会総会を開催、まず会長、来賓のあいさつに引き続き、昭和40年度関係各省の豪雪災害予算の説明を聴取、ついでつぎの事項について協議決定した。

- 1 豪雪災害対策の推進について
- 2 その他

10都道府県議会議長会

○2月5、6日の2日間、神奈川県において開催、つぎの事項について協議決定し、関係方面に要望することとした。

- 1 国民健康保険財政確立について
- 2 健康保険制度改正による被保険者負担の増加反対について
- 3 住宅団地造成の規制並びに財政措置について
- 4 中小企業の危機対策について
- 5 中高年齢層の雇用促進について

北海道・東北6県議会議長会

○1月26日 青森県東京事務所において開催、1月27日開催の全国議長会臨時会にのぞむブロックとしての意思統一等について協議した。

資 料

第4回定例道議会の議決を 経た条例の公布調

件 名	議決 月日	公布月日 公布番号
北海道恩給条例等の一部を改正する条例	12.24	12. 25 条例第85号

北海道身体障害者更生相談所設置条例等の一部を改正する条例	同	同 条例第86号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同 条例第87号
北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	12.21	12. 21 条例第81号
北海道地方警察職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	同	同 条例第82号
北海道学校職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	同	同 条例第83号
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	同	同 条例第84号

衆・参正副議長、常任・特別委員長一覧

(昭和40年3月10日現在)

	衆 議 院	参 議 院
議 長	船 田 中 (自) 栃 木 1	重 宗 雄 三 (自) 全 国
副 議 長	田 中 伊 三 次 (自) 京 都 1	重 政 庸 徳 (自) 全 国
内 閣 委 員 長	河 本 敏 夫 (自) 兵 庫 4	柴 田 栄 (自) 愛 知
地 方 行 政 委 員 長	中 馬 辰 猪 (自) 鹿 児 島 2	天 坊 裕 彦 (自) 全 国
法 務 委 員 長	加 藤 精 三 (自) 山 形 2	石 井 桂 (自) 東 京
外 務 委 員 長	安 藤 覚 (自) 神 奈 川 3	小 柳 牧 衛 (自) 新 潟
大 蔵 委 員 長	吉 田 重 延 (自) 熊 本 2	西 田 信 一 (自) 北 海 道
文 教 委 員 長	渡 海 元 三 郎 (自) 兵 庫 3	山 下 春 江 (自) 全 国
社 会 労 働 委 員 長	松 沢 雄 蔵 (自) 山 形 2	藤 田 藤 太 郎 (社) 京 都
農 林 水 産 委 員 長	浜 地 文 平 (自) 三 重 2	仲 原 善 一 (自) 鳥 取
商 工 委 員 長	内 田 常 雄 (自) 山 梨	豊 田 雅 孝 (自) 全 国
運 輸 委 員 長	長 谷 川 峻 (自) 宮 城 2	松 平 勇 雄 (自) 福 島
通 信 委 員 長	内 藤 隆 (自) 富 山 1	占 部 秀 男 (社) 全 国
建 設 委 員 長	森 山 欽 司 (自) 栃 木 1	安 田 敏 雄 (社) 山 梨
予 算 委 員 長	青 木 正 (自) 埼 玉 4	平 島 敏 夫 (自) 宮 崎

	衆 議 院		参 議 院	
決 算 委 員 長	堀 川 恭 平	(自) 兵 庫 4	渋谷 要	(社) 全 国
議 院 運 営 委 員 長	坪 川 信 三	(自) 福 井	田 中 茂 穂	(自) 愛 知 島
懲 罰 委 員 長	山 本 勝 市	(自) 埼 玉 4	武 内 五 郎	(社) 新 潟
公職選挙法改正に関する 調査特別委員長	中 村 庸 一 郎	(自) 千 葉 3	白 木 義 一 郎	(公明) 大 阪
科学技術振興対策特別 委員長	岡 良 一	(社) 石 川 1	村 尾 重 雄	(民社) 大 阪
産業公害対策特別委員長	保 科 善 四 郎	(自) 宮 城 1	紅 露 み つ	(自) 徳 島
石炭対策特別委員長	加 藤 高 蔵	(自) 茨 城 1	小 柳 勇	(社) 福 岡
災害対策特別委員長	楯 兼 次 郎	(社) 岐 阜 2	大 竹 平 八 郎	(自) 全 国
体育振興特別委員長	大 石 武 一	(自) 宮 城 2		
国際労働条約第87号等特 別委員長	大 橋 武 夫	(自) 島 根		

注 (自) は 自由民主党
(社) は 日本社会党
(民社) は 民主社会党
(公明) は 公明党



1 月 の メ モ

- 1 ○豊頃村、山部村町制を施行、(市28、町150、村42、計220)。
- 2 ○インドネシア、国連脱退を通告、(マレーシアを安保理事国選出に抗議。)○自治省、地方税改正要綱まとめる、地方税 184 億円 の減収 (住民税など負担軽減)。
- 3 ○パキスタン大統領にアユブ・カーン現大統領再選。
- 5 ○ジョンソン米大統領、議会に年頭一般教書を提出。
- 6 ○閣議、日韓交渉の首席代表に高杉晋一氏を任命。○道開発庁、40年度道開発予算最終計数整理結果を発表、追加分 1,759 万 4,000 円、総額 945 億 5,113 万 5,000 円 (対本年度比 16.6 %増)。
- 7 ○建設省、新産業都市建設の道路整備計画をまとめる、道路投資総額 (50年度までに) 全国 6,500 億円、道央 1,200 億円。
- 8 ○閣議、首相の諮問機関に「社会開発懇談会」の設置を正式に決定、来月上旬に初会合。
- 9 ○道東、道南に強風雪、高波あり、被害続出、知内村に災害救助法を適用。
- 10 ○佐藤首相渡米。○ILOの対日調査団一行来日、団長ドライヤー委員長。
- 11 ○伊豆大島で大火 340 戸焼失。
- 12 ○道選管委員長に玉置信一氏を再選。○道、39年度版道経済白書の要約を発表、成長率 (実質) 14.2%、(前年度4.8%)。
- 13 ○農林省、北海道の冷害対策として、40年度に冷害研究用人口気象室を札幌市に新設する旨発表。○道災害消防課、8、9 日低気圧被害最終状況をまとめる。(被害総額 28 億 9,450 万 8,000 円。)
- 14 ○米大統領、対外援助教書を議会に提出、約34億ドルの支出を要請。○建設省、新河川法に基づく 1 級水系を内定、石狩川など15水系。
- 17 ○厚生省、38年12月末現在の医師、歯科医師、薬剤師の就業実態調査を発表、全国医師総数 10 万 6,512 人、(本道 4,433 人)、歯科医師 3 万 4,517 人 (本道 1,323 人)、薬剤師 6 万 4,915 人 (本道 2,192 人)。
- 18 ○道企画部、35年の国勢調査を基礎にした昨年10月 1 日現在の道推計人口を発表、全道 513 万 6,000 人。
- 21 ○第48通常国会再開。○道開発庁、道開発審議会特別委員に安藤道信漁連会長ら31氏 (うち19人新任) を発令。○道、北方農業振興対策案を新設。
- 22 ○道、40年度の電気導入事業計画 (無電灯世帯の解消計画) をまとめる、国と道で 2 億 7,900 万円を補助 (40年度は 2,824 戸)。
- 23 ○建設省、40年度一般道路予算の事業種別および事業費別内訳をまとめる、総事業費 4,075 億 2,000 万円 (15%増)、本道は 491 億 7,800 万円 (16%増)。
- 24 ○英国元首相サ・ウインストン・チャーチル氏死去。
- 25 ○衆院常任、特別委員長決まる。○通産省、40年度鉱工業生産見通しを発表、伸び率10.5 %、乗用車、電気機械が最高の伸び。
- 26 ○政府、農業白書(39年度年次報告と40年度農業施策) を国会へ提出、農業転換期に直面、兼業化へ急速な歩み。○建設省、40年度の治水計画をとりまとめる、本道分新規に岩尾内ダム建設、石狩川など改修。○道開発庁、40年度道開発事業費の地方負担額をまとめる。総額 210 億円 (前年に比べ35億円増)。
- 27 ○日本オリンピック委員会 (JOC) 1972年第11回冬季五輪の札幌招致を正式に決定。○政府、社会開発懇談会委員に中野以佐夫氏 (北海道新聞社長) ら61氏を決定。○道路審議会、39年度から始まる道路整備 5 カ年計画案を了承、本道分は総額 2,728 億円。
- 28 ○警察庁、道交法の改正要綱をまとめる、軽免許は全廃へ、車庫除き資格は18歳以上。
- 29 ○文部省、辺地教員に特別昇給制度実施要領で通達を出す、最低 3 年で 1 号俸昇給。○林野庁、40年度から林業構造改善事業の実施にはいる、道内は当別など 5 地域。
- 30 ○自治省、基本選挙人名簿などの登録人員数を発表、全国 5,985 万 6,757 人、本道 291 万 4,063 人。

2 月 の メ モ

- 1 ○道地方課、冷害による市町村税減免措置実施状況をまとめる、総額7,723万7,000円（24市、128町村）。
- 2 ○水産庁、40年度沿岸漁業構造改善事業の新規実施地域に道東等を決める。
○道、1月の低気圧被害状況（最終的）をまとめる、一般の被害額約40億円、開発局、国鉄の被害額約5億円。
- 3 ○道災害消防課、昨年度内で発生した火災の概況をまとめる、火災総件数2,600件（前年より69件増）、被災世帯数2,640世帯、被災者数1万1,748人。
- 4 ○文部省「国立第4青年の家」の建設地に白金温泉を決める、総工費2億2,000万円。
○閣議、新河川法施行令案を原案どおり了承、国庫負担の道特例を明記。
- 5 ○気象庁、東大、地下核実験の観測所を広島、長野両県に設置。
- 8 ○水産庁、64年の日本側サケ、マス漁獲実績を発表、総計10万5,000トン（前年比27.6%減）規制区域内割り当て大巾に下回る。
○道貿易振興審議会6年ぶりに開く、会長に佐藤貢氏を選任。
- 9 ○農林省道内統計調査事務所、39年度産米の支庁別実収高を発表、増収は檜山支庁だけ、十勝支庁の水稲わずか6%。
- 11 ○行政管理庁、税務行政の改善を勧告、機構、人員配置を再検討。
- 12 ○閣議、40年度地財計画を了承、歳入歳出とも総額3兆6,121億円、15.1%の伸び率。
○政府、漁業白書を国会へ提出、経営の近代化強調。
- 13 ○労働省、39年の毎月勤労統計調査結果を発表、拘束労働時間減る、規模別格差縮小、賃金10.5%ふえる。
- 15 ○経済企画庁、40年度の貿易見通しをまとめる、輸出目標76億ドル達成可能。
- 18 ○最高裁、選挙運動の政治バラに候補名がなくても違反と判決。
- 19 ○閣議、農地管理事業団法案を正式に決定、自立促進で資金融資。
○第8回知事と全道市長会との行政懇談会を開く。
- 20 ○日韓基本条約に仮調印。
○自治省、39年度上水道事業の起債追加配分額を求める、本道は室蘭、苫小牧など10団体、許可予定額2億8,200万円。
- 22 ○農林省、39年産ビート収穫量を発表、全国収穫量120万2,840トン（前年並み）、本道収穫量109万7,000トン（前年並み）。
- 北炭夕張鉱でガス爆発、死者61人出ず。
- 23 ○政府、北炭夕張鉱のガス爆発事故に関し、現地に臨時夕張炭鉱災害対策本部の設置を決定。
○道、北炭夕張炭鉱災害対策連絡協議会の設置を決定、会長郡須副知事、事務局商工部。
- 24 ○大蔵省、39年の基準生計費（消費支出金額）を発表、夫婦子3人標準世帯の年間消費支出金額53万5,696円（38年47万1,108円）。
- 25 ○自治省、39年度特別交付税の配分額をきめる、本道分は道、市町村分あわせて26億7,545万5,000円（前年比27.6%増）。
○1972年冬季オリンピック招致準備委員まとまる、委員長に川島正次郎氏、同委員に町村知事ら19人。
○第1回定例道議会開会、会期33日間。
- 26 ○政府、中小企業白書を国会に提出、近代化推進を訴える。
○総理府統計局、39年平均家計の概況を発表、全国の実収入平均月収6万3,396円（対前年比11.7%増）、本道は全国最低の伸び（4.8%増）。
○道地方課、39年度分の本道に対する特別交付税決定額を発表、市分5億1,294万3,000円、町村分10億3万1,000円（前年度比16.9%増）。
- 27 ○建設省、59ダムの事業計画をまとめる、新規に岩見内ダムなど、総額360億円。

昭和40年3月20日発行

北海道議会時報 (第17巻
第2・3号)

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局